

2016年 3月 31日

新宿区長 へ

法人名 NPO法人市民の芸術活動推進委員会
 所在地 新宿区四谷4-20
 (フリガナ) スズイシ ヒロユキ
 代表者氏名 理事長 鈴木 弘之

事業実績報告書

新宿区協働推進基金条例施行規則第19条の規定により、下記のとおり報告します。

記

1 助成対象事業

事業名	ブルーノ・ムナリーを通じたアート活動
実施日時又は期間	平成27年7月1日～28年3月31日
対象者の範囲及び人数	3歳以上のこどもと親 並びに一般市民
事業内容	ブルーノ・ムナリー常設展に展示された、絵本や視覚教材を活用して、親子や一般市民に造形活動を提供する連続講座。
具体的な活動状況	<p>1 親子で楽しむ造形・読書活動（全8回）講師：有福一昭</p> <p>第1回 2015年8月22日（日）am10:00～12:00 参加費一組500円 参加親子9組（総数20名）</p> <p>「テクスチャー」</p> <p>ものの肌触りや質感を画材や手を通じて感じ、確かめ、その表面を紙に擦って写し取る。そして、写し取ったものを材料に貼り合わせてコラージュをつくるイメージ遊びを行う。</p> <p>◆参加者感想</p> <p>*子どもたちが楽しめるのと同時に、親も真面目になってしまう程親子が一緒になって楽しめるワークショップでした。久しぶりにものを自分で作るという体験ができて非常によかったです。</p> <p>*クレヨンが扱いやすくよかったです。テクスチャーをつけるのが面白かったです。</p> <p>第2回 2015年9月21日（月）am10:00～12:00 参加費一組500円 参加親子8組（総数17名）</p> <p>「うちゅうきゅう」</p> <p>日本には昔から木型に紙を貼って人形やお面を作る張り子の技法がある。この講座では、ちぎったり、切って作ったいろいろな形の色紙</p>

を風船に貼り付けて、自分だけの惑星をつくった。

◆参加者感想

- *楽しかったです（意外と難しかったです）。できあがりを楽しめます。
- *色紙を選んで、好きな色と色があって貼って楽しかった。はじめてこういうものをつくりました。「思い出をつくれてよかったです（子）。久しぶりに、子供と工作ができて、楽しかったです。子供の創作意欲を刺激して、とても充実した時間でした。

第3回 2015年10月12日（日）am10:00～12:00 参加費一組500円 参加親子15組（総数32名）

「マペット」

紙をもむと布のように軟らかくなる。軟らかくした色紙を袋状にし、いろいろな色紙で飾り付け、動物などをつくる。出来上がったら、手につけて動かすとまるで本当に生きているようにみえる。

◆参加者感想

- *身近にある素材（材料）で、こんなにも楽しくマペットが作れるとはビックリ！！幼児も参加でき年齢に応じた発想で作品作りが出来るので、また、チャレンジしたいと思います。
- *これで、人形劇遊びが出来そう～！！楽しい企画に参加できてよかったです。ありがとうございました。

第4回 2015年11月22日（日）am10:00～12:00 参加費一組500円 参加親子8組（総数16名）

「クリスマスハット」

紙を半円形に切り、貼り合わせると円錐形の帽子ができる。色紙などを切って、クリスマス飾りを作り、この円錐形の帽子に飾り付け、楽しいクリスマスハットが完成する。

◆参加者感想

- *くりすますおまちしてます。ありがとうございました。たのしみ…。まゆこ
- *今日も親子ともに集中して楽しめてよかったです。ただ、いつもよりはちょっとよくある感じの内容で残念でした。また新しいコトを教われるとうれしいです。

第5回 2015年12月23日（日）am10:00～12:00 参加費一組500円 参加親子8組（総数16名）

「直接の映写」

紙・セロファン、糸、布などいろいろな材料を切って組み合わせ、35mmのスライドマウントにはさむ。それをプロジェクターでスクリーンに投影してみると、そこには小さな世界が拡大され、想像以上のイメージを見ることができる。微少のものを拡大してみると、顕微鏡で見るような目では認識できない世界を見ることができる。

◆参加者感想

- *普段見ている素材を光を通して見ることでたくさんの発見とよろこびがあったように思う。子どもたちに高度な技術がなか

ったとしても、より身近にアート体験ができたのでよかった。小さな世界に実際入ることはできないけれども、大きく映写することで、本当に子どもたちがその世界にはいることができるということを感じた。そこから演劇の世界へも発展できるような印象をうけた。また是非参加したいです。

第6回 2016年1月31日(日) am10:00~12:00 参加費一組500円
参加親子2組(総数5名)

「さまざまな形」

空に浮かんでいる雲を見て、クジラとか羊とかお菓子など、いろいろなものに見える経験がある。この講座では、1枚の大きな紙をさまざまな形に切ってできた不定形な形から、なにかのイメージを発見し、それを描く造形あそび。

◆参加者感想

*本日はありがとうございました。色と形など、新しい発見があり、とてもたのしかったです。子どもたちの感性も広げられて嬉しかったようです。また次回に参加できたらいいと思います。

第7回 2016年2月28日(日) am10:00~12:00 参加費一組500円
参加親子4組(総数10名)

「コラージュ」

身の回りにはさまざまな肌触りの素材がたくさんある。同じような色の素材も隣り合わせて貼ると表情が違う。いろいろな素材を切って組み合わせ、絵を描くように、1枚の紙に貼ってみると、新しいイメージができあがる。

◆参加者感想

*自由に、好きなように、子どもの想像力が発揮できる機会だったと思います。
*たのしかったです。(子)いろいろな紙で一つのものを作るのが楽しかった。(子)全部たのしかったです。また、やりたいです。(子)家で落ち着いて子どもたちと何かをする時間があまりないので、一緒にやれてとても楽しかったです。

第8回 2016年3月20日(日) am10:00~12:00 参加費一組500円
参加親子4組(総数9名)

「木をつくろう」

大きな紙を使い、床一面に大きな一本の木をみんなで作る。木ができたら、葉っぱ、花、虫など、木にあるものを想像して、自由に描いて飾る。完成したら、みんなでもちあげ、壁に貼り付け、大きさを味わう。

◆参加者感想

*「大きな木にいろいろな葉っぱや動物が描けたので楽しかった」と、子どもが言っています。いつも親切なご指導ありがとうございました。楽しく参加させていただきました。次回も楽しみにしています。

	<p>2 市民を対象としたムナーリ講習会 (全4回) 講師：岩崎 清</p> <p>第1回 2015年9月27日(日) am10:00～12:00 参加費一人2000円 参加者5名</p> <p>「ムナーリの絵本の解説」</p> <p>コミュニケーションという視点から、視覚的な要素に満ち溢れているムナーリの絵本『たんじょうびのおくりもの』『きりのなかのサーカス』『闇の夜に』を選んで、読み解く。</p> <p>第2回 2015年11月15日(日) am10:00～12:00 参加費一人2000円 参加者5名</p> <p>「読めない絵本」の解説と制作1</p> <p>文字のない絵本とも言うべき『読めない絵本』の内容解説。そして各自がそれぞれの感性を発揮して『読めない絵本』のデッサンを制作する。</p> <p>第3回 2016年1月10日(日) am10:00～12:00 参加費一人2000円 参加者5名</p> <p>デッサンをもとにして、各自が『読めない絵本』の制作をする。</p> <p>第4回 2016年3月13日(日) am10:00～12:00 参加費一人2000円 参加者6名</p> <p>『読めない絵本』の制作の継続と完成作品の鑑賞。新規参加者1名はデッサンを制作する。以降自宅で制作し、後日講師に個別指導をうける。</p> <p>◆参加者感想</p> <p>初回の対話式ワークは、少人数だからできたのであるが、対話は本当に大切なことだと思った。自分の意識下にあるものを、対話によって引き出してもらったと感じた。</p> <p>2 回目のムナーリのカードを使ったワークは、実際にカードを使って遊ぶ事ができたので、貴重な体験となった。しかし、そのカードで遊ぶだけではなく、実際にオリジナルでつくれるような体験もしたかった。</p> <p>3 回目の実際の制作では、参加者同士の交流があり、意見を交換したり、制作を互いに見合いながら進めることができたので、学びそのものが広がり、深められることができた。</p> <p>4 回目は「読めない本」の最後の制作と鑑賞会。読めない本の魅力と必要性みたいなものを感じた。</p> <p>是非、次回の造形教室へも参加したいと思う。</p>
<p>事業の成果</p>	<p>ブルーノ・ムナーリの開発した造形要素(線・形・色)に着目した活動は、親子ともども楽しめる造形活動となった。ことに、親も一緒に造形に親しむことができ、自宅に帰ってからも改めてやってみたいとの意見が多数寄せられた。造形活動が家庭でも実に行われることは、予想を超えた成果となった。</p> <p>一方市民を対象とした絵本づくりでは、ムナーリが実際に制作した絵本(みえない絵本)をもとに、自由な発想で新しい世界で一つの絵本を制作することができた。ムナーリの世界を実際に味わうことができ、本当に良かったという感想を得ることができた。</p>

2 助成対象事業費内訳（実績）

※ 内訳は、できるだけ「単価×数量」で示してください。

※ 1万円以上のものについては、領収書（写し可）を添付してください。

収入	経費	積算根拠（内訳）		金額
	団体負担金			217,070 円
	参加費・資料代等	親子参加者@500 円×延べ 58 組=29,000 円 市民参加者@2,000 円×延べ 21 人=42,000 円		71,000 円
	その他の収入			0 円
	協働推進基金助成金	助成金交付額		350,000 円
	計			638,070 円
支出 （助成の対象になる事業費の内訳）	費目	決算額	内訳	
	会議費	26,302 円	会議資料コピー @30 円×200 枚=6,000 円 図工室使用料（1ヶ月共益費 240,000 円×面積案分 122 / 591.44 ÷ 30 日=1650.21 円（一日単価）×12 回=19,802 円 四谷ひろば（コミュニティ 2・午前）使用（親子造形教室）@500 円	
	宣伝費	31,290 円	A4 チラシ①印刷 1,000 枚=4,170 円 A4 チラシ②印刷 500 枚=3,850 円 A4 チラシ③印刷 800 枚=7,070 円 チラシ①1000 枚制作費=6,480 円 チラシ②500 枚制作費=3,240 円 チラシ③800 枚制作費=6,480 円	
	リース費	0 円		
	消耗品費	9,672 円	ファイル 2 コ=1,446 円 スチレンボード 20 枚 = 2,760 円 プリンターインキ 1 セット=3,650 円 プリンター用紙 20 枚（単価 31.96 円）=639 円 印画紙 L 判 100 枚（単価 11.77 円）=1,177 円	
	謝礼	0 円		

人件費	60,103 円	<p>実行委員会活動費@1,000 円×2 時間×5 名×4 回=40,000 円</p> <p>親子を対象とした講師@2,500 円×4 時間×8 回=80,000 円 (うち、時間単価 1,000 円を超える 48,000 円 (1,500 円×4 時間×8 回) を助成対象外事業費に計上)</p> <p>=32,000 円 (人件費計上分)</p> <p>親子講習準備作業@1,000 円×2 時間×1 名×8 回=16,000 円</p> <p>親子講習当日役務@1,000 円×2 時間×1 名×8 回=16,000 円</p> <p>市民を対象とした講師@5,000 円×4 時間×4 回=80,000 円 (うち、時間単価 1,000 円を超える 64,000 円 (4,000 円×4 時間×4 回) を助成対象外事業費に計上)</p> <p>=16,000 円 (人件費計上分)</p> <p>市民講習準備作業@1,000 円×2 時間×1 名×4 回=8,000 円</p> <p>市民講習当日役務@1,000 円×2 時間×1 名×4 回=8,000 円</p> <p>計 136,000 円 (うち、20%を超える分 75,897 円は対象外)</p>
材料費	79,668 円	<p>うすば紙 10 枚 777 円 ラメ紙 10 枚 1,026 円 風船 4 セット 1,553 円</p> <p>「色画用紙 (4 切 100 枚 20 セット) 33,200 円、マーカーペン (ポスカ細 15 色セット 2 箱) 5,100 円、マーカーペン (ポスカ太 15 色セット 2 箱) 5,100 円、クラフトロール (1 本) 1,000 円、アクリル絵具 (スクールガッシュ 12 色セット 1 箱) 8,400 円、接着剤 (アラビックヤマト糊 30 コ 2 箱) 8,400 円、画用紙 (4 切 100 枚 2 枚) 3,320 円、マーカーペン (10 本 2 箱) 2,000 円、トレーシングペーパー (100 枚 1 枚) 900 円、接着剤 (カネスチック 12 個 2 箱) 3,240 円」</p> <p>消費税 5,652 円</p>
交通費	44,432 円	<p>実行委員会会議交通費 @946 円×4 @720 円×4 @1,130 円×4 @556 円×4 @768 円×4 =16,480 円</p> <p>親子対象講師旅費@946 円×8 回=7,568 円</p> <p>親子講習会準備作業旅費@946 円×8 回=7,568 円</p> <p>親子講習会当日役務旅費@556 円×8 回=4,448 円</p> <p>市民対象講師旅費@768 円×4=3,072 円</p> <p>市民講習会準備旅費@768 円×4 回=3,072 円</p> <p>市民講習会当日役務旅費@556 円×4 回=2,224 円</p>

	その他諸経費	49,050 円	郵券@82 円 (145 枚=11,890 円+90 枚=7,380 円+100 枚=8,200 円+150 枚=12,300 円+50 枚=4,100 円) =43,870 円 郵券@92 円×45 枚=4,140 円 はがき@52 円×20 枚=1,040 円
	助成対象事業費 (小計)	300,517 円	
	余 剰 金	149,656 円	助成金交付額 350,000 円－ (助成対象事業費 (小計) 300,517 円×2/3) = 149,656 円
	助成対象外事業費	187,897 円	48,000 円 (親子対象講師・時間単価 1,000 円を超える分) +64,000 円 (市民対象講師・時間単価 1,000 円を超える分) +75,897 円 (人件費 20%を超える分) =187,897 円
	事 業 総 額		638,070 円

3 助成事業の成果と課題

評価のポイント	自己評価
事業を計画した当初に決めた目標について、どこまで達成できたか。	おおむね達成できた。 なお、当初計画による参加者については、計画より参加者が減少した。
地域にどのような効果があったか、又は今後見込まれる効果は何か。	ブルーノ・ムナーリの絵本や教材が講習を継続開催することにより、認知されるようになった。今後は、町会連合会や地域センターへも働きかけていくことで、さらに情報を提供し、地域住民の参観を増加させたい。
費用対効果は適正であったか。	適正であった。
新たに気づいた課題・問題点は何か。また、どのような対策が考えられるか。	参加者が予想外に少なかった。これはチラシ配布などの広報活動では限界があることが判明した。従って、ホームページやフェイスブック、ツイッターなどのメディアを活用したり、知古をたよる人づての地道な活動も必要である。また、おもちゃ美術館へも働きかけ、協力をお願いしたい。
理解者や支援者が広がったか。	四谷ひろばの運営協議会に参加する役員の方々には周知されるようになり、実際に常設展に足を運んでいただき、周知のご協力をお願いした。

<p>事務局の執行体制は十分だったか。</p>	<p>実行委員会を開催し、事務局と連携した取組を行った。実務体制のノウハウは獲得したので、実行委員会の開催を縮小し、実務体制を強化していきたい。</p>
<p>今回の事業を次年度以降も継続していく場合、助成金だけに依存せず、今後も安定的に事業を継続するための財源確保等に向けた取り組みはなされていたか。</p>	<p>参加費を徴収して財源確保を図ってきた。また、講習会は本法人の重要な市民を対象とした事業であり、新たな事業展開となった。</p> <p>なお、参加者が予想を下回ったため、参加者の増員が欠かせない。次年度は親子を対象とするだけでなく、小中学生児童生徒が単独でも参加できるよう対象を拡大したい。</p>
<p>その他</p>	<p>広報活動を一層展開させるよう、区内小学校中学校へもポスターを掲出するなどして、活動を周知させていきたい。</p>